

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県芸術の森公園	所管課	観光文化部 文化振興・文化財課
所在地	甲府市貢川1-4-27	設置年月日 (改築年月日等)	平成元年11月2日
管理方式	SPS・桔梗屋・KBS共同事業体		
設置根拠 (法律、条例等)	都市計画法、都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 6ha ○施設の内容 ・野外研修施設 ・茶室 ・日本庭園 ・バラ園 ・広場 ・園路 ・緑地 ・彫刻等		
主な業務内容	(1)施設の利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	同規模の公園は県内各地にある。 ただし、当公園は美術館・文学館と一体となって芸術の森公園を形成しており、このような性格を有する公園は県内で唯一である。
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	利用者数	494,634	492,838	172,400	
	利用者数合計	494,634	492,838	172,400	
	目標値	513,000	472,000	481,200	466,000
	目標値設定の考え方及びその理由	美術館・文学館(茶室等公園施設利用者を含む)の入館者総数			
	対平成30年度比		99.6%	34.9%	94.2%
利用率					

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	16,073,603	15,912,402	16,766,978	15,108,082
	その他	435,739	363,792	231,685	398,112
	収入合計(A)	16,509,342	16,276,194	16,998,663	15,506,194
支出	人件費				
	県への納付金			391,043	
	管理運営費	16,016,612	16,276,194	15,158,968	15,506,194
	うち外部委託費(B)	13,877,880	14,005,200	14,005,200	14,005,200
	支出合計(C)	16,016,612	16,276,194	15,550,011	15,506,194
収支差額(A-C)		492,730		1,448,652	
外部委託比率(B÷C)		86.6%	86.0%	90.1%	90.3%
利用者一人当たりの経費		32.5	33.1	96.8	32.4

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和2年7月～令和3年3月 ※美術館・文学館のWEBアンケートに公園の項目を追加し、そのすべてをまとめて集計 ※新型コロナウイルス感染防止のため4月～5月は休館。 ※感染防止のため紙アンケートは実施なし。代わりにWEBアンケートを7/1～導入 実施方法:来館者アンケート、回答数:150人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①公園の充実度	58.2%	39.0%	2.1%	0.7%
②公園の整備状況	59.4%	38.4%	1.4%	0.8%
③駐車場	61.4%	34.1%	3.8%	0.7%
施設全般の満足度	60.4%	38.1%	0.7%	0.8%

利用者の意見	<肯定意見> 行き届いた手入れ、バラ園や紅葉による美しい景観、駐車場の大きさと使用料の無料、公園内の彫刻作品、噴水の稼働
利用者の意見への対応	<否定意見> 駐車場からの距離、駐車場の車いすの整備、案内看板の整備、駐車場警備員の対応、樹木の整備 1ヶ月に1度、アンケートの内容を県直営部門、指定管理が共有し、対応を協議している。 ・公園内の案内や注意喚起の看板が古く、わかりにくいというご指摘を受け一部の看板を新しいものに交換した。 ・駐車場に車いすの設置を求める意見は変わらず多いため、土日祝日は第1駐車場に車いすの設置を継続している。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>指定管理者業務仕様書に基づき、年間事業計画を立案の上、予定通り実施した。</p> <p>法令順守を前提に、保守点検、警備、清掃等維持管理を効率的・効果的に行った。</p> <p>また、公園内を定期的に見回り、段差等の危険個所には表示を設置するなど、注意を促した。</p> <p>R3年4月から行われる大掛かりな公園整備事業(県費)には、打合せの段階から参加し、情報の提供や共有を行った。</p>	<p>業務仕様書・業務計画書に基づき、法定点検業務などの施設管理業務が適切に実施されていた。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染対策に配慮しながら、保守点検、警備、清掃等、施設の維持管理業務を効率的・効果的に取り組んでいただきたい。</p>
運営業務	<p>公園を利用した「県民の日」のイベントやミニマルシェ「ミュゼ・ド・ノエル」(文化庁クラスター事業)を企画し、多くの方にご来場頂いた。</p> <p>協力会に手入れをして頂いているバラ園や菖蒲については、SNSを活用し、タイムリーに告知をした。</p> <p>野外ステージ客席に夜間に侵入する不審者等もいたが、県や警察と共有し、防犯にも努めた。園内での事象は近隣住民の生活にも影響するため、都度共有し、館一体となり運営した。</p>	<p>業務仕様書・業務計画書に基づき、適切に運営業務が実施されていた。</p> <p>公園を利用した企画やSNSを活用した周知など、公園の価値向上に関する事業に積極的に取り組んでいる。</p> <p>引き続き、来園者の安全・安心を第一に、魅力的な事業の実施に取り組んでいただきたい。</p>
利用状況	<p>美術館・文学館・芸術の森公園の公式インスタグラムを開設。公園は樹木や花、野鳥などが見せる四季の表情を取り上げ、公園全体の雰囲気や公園での過ごし方をイメージしてもらい、インスタグラムを利用する幅広い世代への来館のきっかけとした。</p> <p>週末にはレジャーシート持参でピクニックをしている家族連れの姿も見受けられ、コロナウィルス感染症の影響で外出制限をしている中での密を避けた憩いの場の提供となった。</p>	<p>SNSを活用した情報発信等、公園の利用者増加に積極的に取り組んでいる。</p> <p>引き続き、公園利用に関して積極的に情報発信するとともに、新型コロナウイルス感染対策に配慮しつつ、イベントの展開など利用者増加に繋がる取り組みを講じていただきたい。</p>
収支状況	<p>バラ園拡充に伴うボランティアスタッフの増員などもあり、ハサミや竹ぼうき等の作業に必要な道具類を購入した。</p> <p>また、7、8月および9月上旬の土日祝日に稼働させていた噴水を、光熱水費を管理しながら、11月より開館日には稼働させ、噴水の周りに人が集う環境にした。</p>	<p>経費を管理しながら、効率的な施設管理を行っている。</p> <p>今後もより一層の効率化を進め、経費削減に努めるとともに、来園した利用者へ憩いの場を提供していただきたい。</p>
自主事業	<p>自主事業である「野外彫刻たんけんツアー」を開催。毎年恒例となっている「ミュゼ マルシェ」は、今年度は文化庁のクラスター事業の一環として「ミュゼ・ド・ノエル」として実施した。感染症防止対策のため、規模は縮小したものの、山梨の食と文化を体験できるイベントとして実施し、賑わいの創出だけでなく、「ミュゼ マルシェ」の新しい形を作り上げた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染対策に配慮しつつ、独自性のある自主事業を実施している。</p> <p>参加者を有料施設に呼び込む施策について、直営部門と連携し、取り組んでいただきたい。</p>

<p>利用者満足度</p>	<p>平成31年度から美術館、文学館のアンケートに公園の項目を追加し、満足度を図っている。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染対策のため紙アンケートを休止し、7月からWEBアンケートを導入した。回収率は昨年度の4分の1と少なかったが、お客様満足度は、調査項目すべてにおいて「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた数字が90%以上となり、高い水準を達成することができた。</p> <p>今後は、より多くのお客様の意見を集められるような仕組み作りとその意見を反映させた運営を行っていきたい。</p>	<p>WEBアンケートの取組については、新型コロナウイルス感染対策のみならず、ペーパーレス化や経費削減の観点からも望ましいと考える。</p> <p>今後は、アンケートの周知方法を工夫するなど、回収率の向上に取り組むこと。</p> <p>高い利用者満足度が得られるよう、引き続き顧客ニーズを捉えた運営ができるよう努められたい。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>業務仕様書等に示された業務を適切に実行。また、芸術の森公園を利用して、自主事業である「野外彫刻たんけんツアー」を開催。毎年恒例となっている「ミュゼ マルシェ」は、今年度は文化庁のクラスター事業の一環として「ミュゼ・ド・ノエル」として実施した。感染症防止対策のため、規模は縮小したものの、山梨の食と文化を体験できるイベントとして実施し、賑わいの創出だけでなく、「ミュゼ マルシェ」の新しい形を作り上げた。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理、運營業務等について、条例、協定、事業計画に基づき、適正に履行されたと考える。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者数は前年度を下回ったものの、コロナ禍における運営に関して企画事業に創意工夫が見られ、総合的な利用者満足度も高い評価を得ている。</p> <p>引き続き、適切な新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、サービスの維持・向上に努め、新規利用者の獲得やリピーターの増加に取り組み、利用者の満足度向上を図ること。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応も長期戦となっているが、気を緩めることなく、来館されるお客様や美術館・文学館で働く職員の安全と安心の確保に努めていきたい。</p> <p>また、コロナ禍での特別展示や企画展示の広報活動は、国や県のガイドラインを意識しつつ、特別展の内容に有効なエリアやターゲットに向けて情報を発信し、新規来館者やリピーターの集客につなげていく。</p> <p>企画事業については、リモートやオンラインなどのインターネットを活用したイベント開催等も検討し、より多くの方に「山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園」を知ってもらい、その雰囲気に触れてもらう機会の提供を図っていく。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

